

# 平成29年度 友愛会事業計画

## ○基本理念

人権尊重 信頼を得て 協働で奉仕

## ○基本目標

全ては利用者様のために、そして地域のために

\* 地域全体の生活を守る（地域を維持する）

## ○基本方針

1. 法令順守を基本とした法人運営（経営）を行なう。
2. 高い技術と知識を身につけ、社会に貢献できる人を育てる。
3. 地域を守ることを念頭に、福祉活動を行う。
4. 利用者様主体の、開かれた事業運営、信頼されるサービス提供する。

## ○活動指針

<職員行動目標>

職員一人一人が、常に「考える」ことを大事にし、資質の向上、信頼の獲得を目指し、「思い」をもって仕事に励む。

## 友愛会本部

### 1. 活動目標

\* 法令を遵守し、信頼され、透明性のある、適切な法人運営に努める。

\* 本部機能を充実させ、職員が働きやすい職場づくりを行い、士気の向上に努める。

### 2. 実施項目

#### 1) 理事会、評議員会

①責任ある事業執行、明確な経営管理

②重要な事業や運営について検討・協議、情報交換

・ 理事会、評議員会の開催

・ 内部監査の実施

③役員研修会の開催

#### 2) 経営体制の安定化

①利用者の増加をはかり、良好な経営を目指す。

②事務部門の合理化、一本化を図る。

③広報・啓発活動（情報公開・広報誌・各学校訪問等）

④地域とのつながりを持てる事業を行う。

3) 人材の育成

①人事交流の実施

②職員研修の充実（各研修会への参加、新人研修・園内研修の実施）

③資格取得の推進

④人材確保（役職員全員で取り組む）

⑤職員の思いの共有（目標の設定、個人面談実施等）

4) 飯南町福祉協議会の活動への協力

5) 飯南町包括推進局の活動への協力

6) 地域の方を交えた研修会の開催（9月）

7) 事故、苦情等への迅速適切な対応

8) 衛生管理の徹底による、各種感染症予防

9) 施設の老朽化による不具合が生じやすいので、利用者様への負担・運営の停滞を招かないよう、施設・機器の管理を行う。

友愛会長期計画による各事業所の運営

1) 愛寿園建て替え計画の進行

2) 琴引の里修繕 優先順位に従い着手

# 平成29年度 愛寿園事業計画

## 1. 運営方針

理念を念頭に置き、「社会人として立派な人材の育成」「利用者、家族様とともに一緒になって歩む」そして「施設だからできないことがないよう」職員一同、力をあわせて、職員も利用者様も居心地のいい施設を作る。

一人一人の生活の延長上に、施設があるという考えのもと、在宅支援や在宅復帰も視野に入れた、施設運営を行う。

## 2. 行動目標

\*明るい笑顔と、誠実な対応

\*少数精鋭を目指す

## 3. 実施項目

### 1) 「望まれる生活」の推進をはかる

①各職域とも、常に業務の改善を図り、生産性の向上を図る

②「喜ばれるケア」「買ってもらえるサービス」を意識し、ケア計画の充実、サービス内容の見直し、改善を行う。

③感染、事故等「予防」に力を入れ、安全な生活を提供する

④介護保険外サービスについて実費徴収を行い（間食、入院管理、送迎、看取り）充実したサービス内容とする。

### 2) 職員の資質の向上を図り、「必要とされる人材」づくりを行う

①県内外の研修会への参加（参加後、研修発表会の開催）

②定期的な園内研修会の開催

③研修会等への発表施設として参加する

④資格取得の推進

⑤個々の目標設定、自己評価、他者評価、個人面談を行う

### 3) 地域とのつながりを強化し、情報発信に力を入れる

①総合事業としての取り組み実施

②施設の地域への開放

③メイン行事として、「夏祭り」の実施

④行政、公民館等のイベントへの参加協力

⑤地域での集まり（サロン等）への参加協力

⑥小中学校、高校生徒への福祉学習の推進

⑦地域の美化活動

### 4) 在宅での生活への支援に力を入れる

①新しいサービス（介護保険対象、介護保険対象外とも）の構築

# 平成29年度 琴引の里事業計画

## 1.運営方針

近年、老人ホームに入所している高齢者は、多様な生活課題を抱えており、施設は生活支援をはじめ、介護支援や各種疾患・障害等に対応しつつ、入所者の自立生活支援に取り組むなど、ニーズの多様化・複雑化に対し、より専門性の高いサービスを提供すべく対応を行っています。

また、要介護・要支援状態にある高齢者に対しては、介護保険を利用し、介護が必要になっても引き続きホームでの生活が継続できるよう取り組んでいます。

地域においては、一人暮らしや夫婦のみの高齢者世帯が増える中で、在宅においての生活が困難になった高齢者に対する生活支援・介護提供を行う養護老人ホームの役割は大きなものがあると考えるとともに、地域包括ケアシステムの中で、市町村など自治体との連携・協力体制により、この地域に不可欠なセーフティネットとしての役割を自覚し、生活環境（サービス）の充実と多様化する介護ニーズへの個別的な対応を図ることにより、「この施設を利用してよかった」と思ってもらえるよう施設運営を行います。

## 2.行動目標

\*入所者を尊重し、安らぎと温もりある、誰もが安心して生活できる場を提供する

## 3.実施項目

### 1) 近隣の市町村等との緊密な連携を図る

- ・市町村の期待するニーズに合った入所者の受け入れを行う
- ・飯南病院、保健福祉センター等との連携を図る
- ・特別養護老人ホームとの連携を図る
- ・雲南広域連合等との連携を図る

### 2) 入所者への処遇

- ・入所者一人一人が安全で充実した生活が送れるよう支援する。
- ・入所者の能力に応じ、自立した生活ができるようサービスを提供する。
- ・共同生活でありながら、一人一人がその人らしく生活できるようにプライバシー保護に努める。
- ・入所者とのコミュニケーションを大切にする。

3) 身元引受人（家族等）さんへの適切な対応を行う

- ・施設に入所したことによる安心感の提供
- ・身元引受人さんとの連携を密に情報を提供する。
- ・ターミナルケアから看取りへの身元引受人さんとの連携を密にする。

4) 職員の取り組み

- ・やさしい声掛けや思いやりのある、誠意を持った対応を心掛ける。
- ・専門職としての意識を高く持ち日々の業務に取り組む。
- ・職場内での信頼関係を高めチームワークを意識し活動を心掛ける。
- ・報告、連絡、相談の徹底を図る。
- ・より良いサービスが提供できるよう、介護記録の積極的な記入により、入所者の状況やニーズを職員間で共有する。

5) 生活実感（生きがい）の提供

- ・手芸教室、映画会、小運動会等の実施
- ・日帰り旅行、外食会、近隣スーパーマーケットへの買い物ツアー等の実施
- ・ぼたん祭り、ポピー祭、コスモス祭、各地区秋祭りの見学や紅葉観察等への外出
- ・エルシー店（出張店）、喫茶店等の実施
- ・敬老会、新年会、忘年会、町内保育所児童との交通安全餅つき会等の実施

6) 食事について

- ・安全でおいしい食事の提供
- ・嗜好調査の実施（年1回）によるニーズに合った食事の提供

7) 職員研修（レベルアップを図る）

- ・研修会等への積極的な参加
- ・施設内研修、勉強会の実施（事故対策の分析、改善）
- ・自己啓発による専門資格の取得

8) 環境の整備

- ・生活しやすい環境の整備
- ・働きやすい環境の整備
- ・老朽化した設備の計画的整備

9) 介護保険への対応

- ・ケアプランの立案、実施、見直し等、多職種が連携をはかり適切な介護サービスを提供する。

## 10) 各種会議の開催

### ①定例会議

- ・ サービス調整会議（月1回）
- ・ 第三者委員会（年2回）
- ・ 合同職員会（年1回）

### ②その他会議